

令和8（2026）年度10月期入学

令和9（2027）年度4月期入学

福島大学大学院
共生システム理工学研究科
（博士前期課程）

- ◇ 共生システム理工学専攻
- ◇ 環境放射能学専攻

学生募集要項

※本学におけるすべての入試はインターネット出願です。

インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しません。

（出願書類一式を簡易書留速達で郵送もしくは持参することで、
出願手続が完了となります。）



〒960-1296

福島市金谷川1番地

☎024-548-8064（入試課）

<https://www.fukushima-u.ac.jp/>

福島大学
スマートフォン対応サイト



目 次

福島大学大学院共生システム理工学研究科（博士前期課程）学生募集要項

1-1. 共生システム理工学専攻（博士前期課程）アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
1-2. 環境放射能学専攻（博士前期課程）アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	2
2. 募 集 人 員	3
3. 出 願 資 格	4
4. 出 願 手 続	6
5. 選 抜 方 法	11
6. 試験日程および試験会場	12
7. 障がい等のある入学志願者の事前相談	12
8. 安全保障輸出管理について	13
9. 合格者発表	13
10. 入学手続および入学手続に係る留意事項	13
11. 入学科・授業料の減免について	13
12. 注 意 事 項	14
13. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において 被災された方に対する検定料の免除について	14
14. 教育方法の特例措置について	15
15. 長期履修学生制度について	15
16. こども性暴力防止法の施行について	16
○福島大学案内図	本要項末

本学大学院共生システム理工学研究科博士前期課程は、共生システム理工学専攻と環境放射能学専攻の2専攻からなります。共生システム理工学専攻は4つのコース（数理・情報システムコース、物理・メカトロニクスコース、物質・エネルギー科学コース、生命・環境コース）、環境放射能学専攻は1つのコース（環境放射能学コース）からなります。

これらの専攻およびコースの詳しい内容については、本学のウェブサイトをご覧ください。

共生システム理工学研究科

<https://www.fukushima-u.ac.jp/graduate-schools/System>

本学大学院共生システム理工学研究科において、令和9年度から「研究科名称」および「コース名称」が変更となる予定です。詳しくは本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）に最新の情報を掲載していますので、出願の際は必ずご確認ください。



福島大学大学院共生システム理工学研究科（博士前期課程）学生募集要項

1 - 1. 共生システム理工学専攻（博士前期課程）アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

○教育目標と求める学生像

温室効果ガスによる地球温暖化、化石資源・化石エネルギー資源の枯渇、経済発展に伴う環境負荷は、地球規模の課題となっています。自然との共生を図りながら経済発展を可能とする、新たな省エネルギー・省資源の技術開発が不可欠な状況になっています。また、我が国では高齢化社会が到来し、介護・医療分野においては高度な支援が求められ、働く世代の減少に伴う産業構造の変革も求められています。

こうした課題の解決のためには、従来の科学技術の枠組みにとらわれず、地球規模の視野と多面的な視点を持ち、「共生のシステム科学」という新たな枠組みの中で物事を考え、対応できる力を有する人材が必要です。

共生システム理工学専攻では、人－産業－環境における共生のための新たなシステム科学の構築を志し、課題解決に向けて積極的に挑戦しようとする強い意欲を持つ人を対象として、本専攻に相応しい人材を選抜します。

本専攻には4つのコースがあり、それぞれ以下のような研究を通して、専門的な知識・技術・技能、実践的な知識運用・課題解決能力、および多面的な視点から事象をとらえようとする人材を育成しています。いずれかのコースに興味があり、自分に適合していると考えた学生を求めています。

[数理・情報システムコース]

数学、情報科学、経営システム工学、およびそれらを基礎とする数理・情報システム分野の研究

[物理・メカトロニクスコース]

物理学、機械工学、電気電子工学、制御工学、およびそれらを基礎とする物理・メカトロニクス分野の研究

[物質・エネルギー科学コース]

化学、材料工学、化学工学、エネルギー工学、およびそれらを基礎とする物質・エネルギー科学分野の研究

[生命・環境コース]

生物学、心理学、地学、気象学、水文学、およびそれらを基礎とする生命・環境分野の研究

○入試の際に求める知識・技能・意欲

共生のシステム科学という新たな学問体系の枠組みの中で、地域に貢献できる実践的な力を有する高度専門職業人・研究者となるため、カリキュラム・ポリシーに示した科目群の履修と修士論文研究の遂行ができるための要件として、以下に掲げる知識、技能、意欲を有している学生あるいは社会人を求めます。

- ・理工系大学の学士課程までに学ぶ基礎的な知識
- ・柔軟な思考力、理解力、応用力、および表現力
- ・現代社会の課題解決に多様な人々と協働して取り組む意欲と、学修・研究に対する主体性

○入学者選抜の基本方針

一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試、推薦入試（高等専門学校専攻科生対象）の枠を設け、口頭発表・口頭試問および出願書類を総合的に判断して選抜を行います。

口頭発表では、受験者に学類・学部在学中の卒業研究および入学後の研究内容について説明を求め、口頭試問では、口頭発表やその内容に関連する基礎的・専門的事項について重点的に試問を行います。口頭発表・口頭試問を通じ、上記に示す学生像および求める知識・技能・意欲を備えているか総合的に評価を行います。

1－2. 環境放射能学専攻（博士前期課程）アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

○教育目標と求める学生像

環境中にある放射性核種は、大気や水の循環、生物の活動などにより、その形態を変えつつ環境中をダイナミックに移動し、それを支配する因子は、放射性核種自身の物理的・化学的性質に加え、気象条件や土壌の性質、動植物の生理生態学的な特性など多岐にわたります。したがってその解明には、生態学、生物学、地球科学、数値シミュレーション、化学、物理学、機械工学、電気工学などのさまざまな学問分野の知識を横断的に理解するとともに、俯瞰的に考察することが必要です。

これまで人類は、大気圏核実験や事故等によって人工放射性核種の環境放出を経験していますが、その影響については未解明な部分が多くあります。また、近年の高度な工業製品の開発に不可欠であるレアメタル等の天然資源の開発などに係る天然放射性核種の管理も、重要な課題となってきています。

環境放射能学専攻では、こうした課題に対応するため、人工および天然放射性核種の環境中の動態を解明し、計測、モニタリング計画、制御、予測、評価などに中長期的視点で総合的に取り組むとともに、それを環境防護、予測評価、環境修復、廃炉、中間貯蔵、浄化などの課題解決ならびに学術の発展に積極的に挑戦しようとする強い意欲を持つ人を対象として、柔軟な思考力、分析・観察力などを総合的に評価し、本専攻に相応しい人材を選抜します。

本専攻には環境放射能学コースがあり、それぞれ以下のような研究を通して、専門的な知識・技術・技能、実践的な知識運用・課題解決能力、および多元的な視点から事象をとらえようとする人材を育成しています。いずれかに興味があり、自分に適合していると考える学生を求めています。

[環境放射能学コース]

・生態学分野

生態学、生物学、およびそれらを基礎とする放射生態学分野の研究

・モデリング分野

地球科学、数値シミュレーション、およびそれらを基礎とする放射能モデリング分野の研究

・計測分野

化学、物理学、機械工学、電気工学、およびそれらを基礎とする放射能計測分野の研究

○入試の際に求める知識・技能・意欲

環境放射能学という学際的な学問体系の枠組みの中で、新たなる未知の課題に対応できる実践的な力を有する高度専門職業人・研究者となるため、カリキュラム・ポリシーに示した科目群の履修と修士論文研究の遂行ができるための要件として、以下に掲げる知識、技能、意欲を有している学生あるいは社会人を求めます。

- ・理工系大学の学士課程までに学ぶ基礎的な知識
- ・柔軟な思考力、理解力、応用力、および表現力
- ・現代社会の課題解決に多様な人々と協働して取り組む意欲と、学修・研究に対する主体性

○入学者選抜の基本方針

一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試、推薦入試（高等専門学校専攻科生対象）の枠を設け、口頭発表・口頭試問および出願書類を総合的に判断して選抜を行います。

口頭発表では、受験者に学類・学部在学中の卒業研究および入学後の研究内容について説明を求め、口頭試問では、口頭発表やその内容に関連する基礎的・専門的事項について重点的に試問を行います。口頭発表・口頭試問を通じ、上記に示す学生像および求める知識・技能・意欲を備えているか総合的に評価を行います。

2. 募集人員

○ 10月期入学 一般入試，社会人特別入試，外国人留学生特別入試

専攻	コース	募集人員
		令和8（2026）年度 10月期入学
共生システム理工学	数理・情報システム	若干名
	物理・メカトロニクス	
	物質・エネルギー科学	
	生命・環境	
環境放射能学	環境放射能学	若干名

○ 4月期入学 一般入試，社会人特別入試，外国人留学生特別入試，
推薦入試（高等専門学校専攻科生対象）

専攻	コース	募集人員	
		令和9（2027）年度 4月期入学	
共生システム理工学	数理・情報システム	第Ⅰ期	40名
	物理・メカトロニクス		
	物質・エネルギー科学		
	生命・環境		
	数理・情報システム	第Ⅱ期	若干名 （変更の予定有り）
	物理・メカトロニクス		
	物質・エネルギー科学		
	生命・環境		
環境放射能学	環境放射能学	第Ⅰ期	5名
		第Ⅱ期	若干名

- ※ 募集人員は，一般入試，社会人特別入試，外国人留学生特別入試および推薦入試（高等専門学校専攻科生対象）の合計数です。
- ※ 推薦入試（高等専門学校専攻科生対象）については，10月期入学の募集はありません。
- ※ 共生システム理工学専攻ではコースごとの定員は設定していません。
- ※ **上記の募集人員は予定であり，変更となる可能性があります。出願にあたっては，必ず最新の情報を本学ウェブサイト「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）でご確認ください。**

3. 出願資格

(1) 一般入試

次の①～⑪のいずれかに該当し、かつ入学試験日の2年前までの期間に受験したTOEIC Listening & Reading Test の成績証明書（9ページ、5.参照）が提出できる者

- ① 大学を卒業した者および入学希望月の前月末日までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により、学士の学位を授与された者および入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することおよび当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって学校教育法施行規則第155条第1項第4号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者および入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- ⑧ 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- ⑨ 外国において学校教育における15年の課程を修了し、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認めた者
- ⑩ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認めた者
- ⑪ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学希望月の前月末日現在で満22歳に達している者

(注) ア. 上記⑪に該当する者とは、上記①から⑩に該当しない者（例えば、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の卒業生）で、本研究科において、個別審査をもって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者です。

イ. 出願資格⑨、⑩、または⑪で出願しようとする者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、本学が指定する日時までに提出してください。なお、詳細および提出書類については、本学入試課に問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」

（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）を参照してください。

ウ. 個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可します。

(2) 社会人特別入試

「(1)一般入試」出願資格①～⑪のいずれかに該当し、かつ、④、⑤または⑥のいずれかの要件に該当する者

- ④ 出願時に、企業、公共機関等に在職している者（大学在学中の者は除く）
- ⑤ 出願時に、企業、公共機関等に在職していないが、入学予定時において、大学を卒業してから2年以上経過した者
- ⑥ 出願時に、企業、公共機関等に在職していないが、入学予定時において、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を取得してから2年以上経過した者

(3) 外国人留学生特別入試

日本国籍を有しない者で、「(1)一般入試」出願資格③～⑪のいずれかに該当する者

（注）「(1)一般入試」出願資格①または②のいずれかに該当している場合は、「外国人留学生特別入試」で出願することはできません。

(4) 推薦入試（高等専門学校専攻科生対象）

次のすべてに該当し、所属する高等専門学校長が責任をもって推薦できる者

- ① 高等専門学校専攻科を令和9(2027)年3月に修了見込みの者で、学校教育法第104条第7項の規定により、令和9(2027)年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- ② 学業成績優秀で人物・健康状態ともに良好な者
- ③ 合格した場合、入学することを確約できる者

4. 出 願 手 続

- ◎ 出願に当たっては、事前に志望分野の希望指導教員と連絡を取り、研究分野の適合性について必ず相談してください。指導教員は「共生システム理工学専攻教員一覧」「環境放射能学専攻教員一覧」で確認してください。

連絡先等が不明な場合には、本学入試課（E-mail：nyushi@adb.fukushima-u.ac.jp）まで連絡してください。

出願手順の手順については、本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」

（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>）に掲載されている「インターネット出願ガイド」および以下を参照してください。

インターネット出願登録（下記Step 2）だけでは出願手続は完了しません。

Step 1	出願方法の確認 (6～7 ページ参照)	出願手続を始める前に、この学生募集要項をよく読んで、内容を確認してください。
▼		
Step 2	インターネット出願登録 (7 ページ参照)	出願登録期間内に、インターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。
▼		
Step 3	検定料の支払い (7～8 ページ参照)	インターネット出願サイトの指示に従い、検定料を支払ってください。(検定料免除申請を行う場合は支払わないでください。)
▼		
Step 4	必要書類の作成・印刷・提出 (8～10 ページ参照)	インターネット出願サイトおよび本学ウェブサイトから印刷した必要書類と、他のすべての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「簡易書留速達」で郵送もしくは持参してください。
▼		
Step 5	受験票の印刷 (10 ページ参照)	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。入学志願者各自がカラー印刷して、必ず試験当日に持参してください。

(1) 事前準備

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認および準備をしてください。	
パソコン等の準備	インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 <PC 利用時推奨環境> ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 <スマートフォン・タブレット利用時推奨環境> ※各 OS の標準ブラウザが推奨環境となります。 ・ iOS 12 以上 ・ Android OS 8 以上 ・ iPadOS 13 以上 ※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作は行わないでください。 ※ブラウザの「戻る」「進む」ボタン、スマートフォンのスワイプは使用せず、画面内に表示されているボタンをご利用ください。 ※Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合がありますので、モバイル版をご利用ください。 ※表示が崩れたりうまく動作しないときは他のブラウザを使用してください。

メールアドレスの準備およびメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを準備してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 (@adb.fukushima-u.ac.jp, @e-apply.jp) 出願時に登録したメールアドレスに、以下に該当するメールが送信されます。 ①マイページ登録時のテストメール ②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③検定料支払完了時の自動送信メール（検定料免除申請を行う場合は送信されません） ④受験票がダウンロード可能になった際の通知メール ⑤出願手続き全般に係る各種メール ※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。
入学志願者本人写真（データ）の準備	インターネット出願登録にあたって、カラーの顔写真データ（jpg）が必要です。（受験票に顔写真が掲載されることになります。） 写真は本人確認に使用しますので、インターネット出願サイトにて出願前3か月以内に正面、上半身、脱帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 写真の比率は縦4cm×横3cm、ファイルサイズは10MBまでです。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合は、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、<u>現像された写真を再撮影しているもの等</u>。
必要書類等の準備	「(6) 出願書類等」(8～9ページ参照)記載の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ準備してください。
出願書類提出用封筒の準備	出願書類提出のために、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を準備してください。
様式印刷の準備（プリンタ、印刷用紙等）	インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズの印刷用紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタおよび印刷用紙を準備してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが、個人情報の取り扱いには十分注意してください。 印字が不鮮明で事実確認ができない場合は、本人に問い合わせをする場合があります。

(2) インターネット出願登録期間

10月期入学	令和8(2026)年7月8日(水)～7月16日(木) 午後4時30分まで
4月期入学 第Ⅰ期	令和8(2026)年7月8日(水)～7月16日(木) 午後4時30分まで
4月期入学 第Ⅱ期	令和8(2026)年10月25日(日)～10月30日(金) 午後4時30分まで

(3) 検定料の支払い

検定料は**30,000円**です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「クレジットカード」「ネットバンキング」「コンビニエンスストア」「郵便局・銀行ATM」「Flywire（海外在住の入学志願者のみ）」のいずれかの方法で支払ってください。（払込手数料が別途必要です。）

※ 外国居住者で、インターネット出願登録および「クレジットカード」「ネットバンキング」「コンビニエンスストア」「郵便局・銀行ATM」「Flywire（海外在住の入学志願者のみ）」での検定料支払いが困難な方は、出願の1か月前までに本学入試課に連絡の上、本学が指定する口座へ検定料30,000円を海外送金してください。

【支払期間】

10月期入学	令和8(2026)年7月8日(水)～7月16日(木) 午後4時30分まで
4月期入学 第Ⅰ期	令和8(2026)年7月8日(水)～7月16日(木) 午後4時30分まで
4月期入学 第Ⅱ期	令和8(2026)年10月25日(日)～10月30日(金) 午後4時30分まで

支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日間です。

(出願締切が4日より短い場合、出願締切が優先されます。)

出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても検定料は返還できません。ただし、次の場合は検定料返還請求ができますので下記に申し出てください。

ア. 検定料を支払ったが、出願しなかった

(出願書類を提出しなかった、または出願が受理されなかった)

イ. 検定料を誤って二重に支払った

なお、請求方法等については、該当者へ個別に通知します。

また、返還の際の振込手数料は請求者負担となります。

検定料返還に関する問い合わせ先

検定料返還手続きに関すること：福島大学入試課

Tel:024-548-8064

返還金の振込に関すること：福島大学会計課出納係

Tel:024-548-8015

※検定料免除について

本学では、令和8(2026)年度に行われるすべての入試において、検定料免除の特別措置を行います。

免除の条件については14～15ページの「13. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を支払わないでください。

(4) 出願期間

10月期入学	令和8(2026)年7月10日(金)～7月16日(木)午後5時まで
4月期入学 第Ⅰ期	令和8(2026)年7月10日(金)～7月16日(木) 午後5時まで
4月期入学 第Ⅱ期	令和8(2026)年10月27日(火)～10月30日(金) 午後5時まで

(5) 出願書類提出先

福島大学入試課

〒960-1296 福島市金谷川1番地 Tel:024-548-8064

(6) 出願書類等

入学志願者は、次の書類を取り揃え、簡易書留速達にして郵送または持参してください。出願期間を過ぎた場合は受理できません。郵送期間を十分に考慮して早めに送付してください。

ただし、「(4)出願期間」で定める出願期間最終日前日の発信局消印のある簡易書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。出願期間最終日当日の発信局消印の簡易書留速達は、受理しません。(出願期間内に書類が本学に到着しないことが確実であるため。)

持参の場合、入試課の窓口受付時間は平日の午前9時から午後5時までです。

海外から郵送する場合は、必ず事前にメールで入試課(nyushi@adb.fukushima-u.ac.jp)へ連絡したうえで、その指示により送付してください。

出願に必要な書類	提出該当者		摘 要
1. 入学志願票 (◆)	全員		本学所定の様式 必要事項を記載してください。
2. 成績証明書	全員		出身(所属)大学長若しくは学部長または出身学校長が作成したもの。(コピー不可)
3. 出願資格を証明する書類	全員	推薦入試出願者以外	以下の書類のうち、該当するもの。 ・卒業(見込)証明書 ・学位授与証明書 大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。学位の授与を申請する予定の者または申請中の者は、短期大学長または高等専門学校長が作成した学士の学位授与を申請(予定)した旨の証明書を提出してください。 ・専修学校専門課程修了(見込)証明書 出願資格⑦に該当する者。証明書内に「修業年限が4年以上であること」、「課程の修了に必要な総授業時間数が3,400時間以上あること」の資格要件が明記された修了(見込)証明書 ・専修免許状または一種免許状の写し 出願資格⑧に該当する者のうち、昭和28年文部省告示第5号十に該当する者。
		推薦入試出願者	出身(所属)学校長が作成した以下の書類すべて。 ・修了見込証明書 ・学位申請予定証明書
4. 研究計画書 (◆)	全員		本学所定の様式 研究計画の概要を記入してください。
5. 英語能力試験の成績証明書 (10 ページ, (7)⑧参照)	一般入試出願者		次にあげるいずれかの英語能力試験のスコアを採用します。 TOEIC L&R (公開テスト) TOEIC L&R IP (カレッジ TOEIC などマークシート方式のみ ※オンライン方式は不可) 入学試験日の2年前から出願までの間に受験し獲得したスコアを対象とします。 TOEIC の Official Score Certificate (公式認定証), Score Report (個人成績表) あるいは TOEIC デジタル公式認定証のいずれかを成績証明書として提出してください。複数回受験した場合には、入学志願者が有利だと判断したスコアについてのみ一つ提出してください。
6. 研究業績報告書 (◆)	社会人特別入試出願者		本学所定の様式 研究業績、職歴等を記入してください。
7. 在職していることを示す書類	社会人特別入試出願者		出願資格(2)④に該当する者は、在職していることを証明する書類(職員証、給与明細書の写しなど)を提出してください。
8. 推薦書 (◆)	推薦入試出願者		本学所定の様式 指導教員の所見に基づき、出身学校長が作成し、厳封したもの。
9. 検定料免除申請書 (◆) および添付書類	※申請者のみ提出		本学所定の様式 検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を支払わないでください。
10. 出願書類提出用封筒	全員		各自で準備した市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒に、上記1～9の必要書類で該当するものを封入し、簡易書留速達で郵送してください。
11. 出願書類提出用宛名シート (◇)	全員		インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「10. 出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し、宛名シートの出願者チェック欄において、出願書類に漏れがないことをチェックしてください。

(7) 出願書類作成上の注意事項

- ① 表中の「◇」印の書類は、インターネット出願登録後にインターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷する書類です。インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正はできませんので、誤入力のないよう注意してください。
- ② 表中の「◆」印の書類は、本学ウェブサイトから様式をA4サイズでモノクロ印刷（複数ページの場合は両面印刷）して作成する書類です。
(本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」
(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>))
黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください。また、パソコンによる作成も可能です。
- ③ 日本語（または英語）以外で書かれた証明書、文書、資料等には、その日本語訳を必ず添付してください。
- ④ 出願書類に次のような不備がある場合は受理できませんので注意してください。
 - ・入学志願票等に記入漏れまたは誤記入があるもの
 - ・出願書類として添付が必要な証明書等が同封されていないもの
- ⑤ 出願書類受理後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めません。
- ⑥ 出願書類について虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑦ 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることが分かる公的な証明書（戸籍抄本等）を別途提出してください。
- ⑧ 「5. 英語能力試験の成績証明書」のOfficial Score Certificate（公式認定証）の原本、Score Report（個人成績表）の原本については、入試課において複写後、試験当日に返却します。ただし、郵送での返却を希望する場合は、「返送用封筒」を各自で準備し、切手を貼り付けて、出願書類に同封してください。なお、TOEICデジタル公式認定証を提出した場合は、返却しません。
- ⑨ 「5. 英語能力試験の成績証明書」については、出願書類提出時にどうしても間に合わない場合は、試験当日に持参することも認めます。ただし、試験当日に提出できない場合は、受験資格を失いますので注意してください。試験当日の提出に間に合わない場合は、本学入試課まで相談してください。
また、出願書類提出時に提出済みの場合、試験当日に再度提出することはできません。

(8) 受験票の印刷について

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。**カラー印刷し、試験当日に必ず持参してください。**受験票の注意事項を読み、試験が始まる前に点線部で山折りにしてください。

出願時に登録されたメールアドレスへ、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせするメールをお送りしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、試験日の3日前までにインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

5. 選 抜 方 法

(1) 一 般 入 試

- 一般入試は、英語能力試験の成績、口頭発表・口頭試問および出願書類を総合的に判断して選抜を行います。
- 口頭発表では、受験者に学類・学部在学中の卒業研究および入学後の研究内容について10分以内で説明を行っていただきます。その際、A 4 用紙 4 ページ以内の配付資料を 3 部持参して面接員に配付し、主にそれを使って説明してください。なお、必要であれば補足説明のための機器（例えば、動画再生やデモソフト実行用のノートパソコンなど）を持ち込んで使用することも可能です。ただし、スクリーンやプロジェクターを使用することはできません。
- 口頭試問では、口頭発表やその内容に関連する基礎的・専門的事項について10分程度の試問を行います。

(2) 社会人特別入試

- 社会人特別入試は、口頭発表・口頭試問および出願書類を総合的に判断して選抜を行います。
- 口頭発表では、受験者にこれまでの研究成果および入学後の研究内容について10分以内で説明を行っていただきます。その際、A 4 用紙 4 ページ以内の配付資料を 3 部持参して面接員に配付し、主にそれを使って説明してください。なお、必要であれば補足説明のための機器（例えば、動画再生やデモソフト実行用のノートパソコンなど）を持ち込んで使用することも可能です。ただし、スクリーンやプロジェクターを使用することはできません。
- 口頭試問では、口頭発表やその内容に関連する基礎的・専門的事項について10分程度の試問を行います。

(3) 外国人留学生特別入試

- 外国人留学生特別入試は、口頭発表・口頭試問および出願書類を総合的に判断して選抜を行います。
- 口頭発表では、受験者にこれまでの研究成果および入学後の研究内容について10分以内で説明を行っていただきます。その際、A 4 用紙 4 ページ以内の配付資料を 3 部持参して面接員に配付し、主にそれを使って説明してください。なお、必要であれば補足説明のための機器（例えば、動画再生やデモソフト実行用のノートパソコンなど）を持ち込んで使用することも可能です。配付資料と口頭発表で使用する言語は、英語または日本語とします。ただし、スクリーンやプロジェクターを使用することはできません。
- 共生システム理工学専攻における口頭試問では、口頭発表やその内容に関連する基礎的・専門的事項について、日本語で10分程度の試問を行います。
- 環境放射能学専攻における口頭試問では、口頭発表やその内容に関連する基礎的・専門的事項について、日本語または英語で10分程度の試問を行います。
- 外国居住者に限り、福島大学試験会場での口頭発表・口頭試問が難しい場合にはオンライン（Zoom等）で試験を行うことがあります。オンライン試験については出願の前に希望指導教員に相談してください。

(4) 推薦入試（高等専門学校専攻科生対象）

- 推薦入試は、口頭発表・口頭試問および出願書類を総合的に判断して選抜を行います。
- 口頭発表では、受験者にこれまでの研究成果および入学後の研究内容について10分以内で説明を行っていただきます。その際、A 4 用紙 4 ページ以内の配付資料を 3 部持参して面接員に配付し、主にそれを使って説明してください。なお、必要であれば補足説明のための機器（例えば、動画再生やデモソフト実行用のノートパソコンなど）を持ち込んで使用することも可能です。ただし、スクリーンやプロジェクターを使用することはできません。

- 口頭試問では、口頭発表やその内容に関連する基礎的・専門的事項について10分程度の試問を行います。

6. 試験日程および試験会場

(1) 試験日程

【10月期入学】

入 試 種 別	試 験 期 日	試 験 科 目
一 般 入 試	令和 8 (2026) 年 8 月 20 日 (木) 集合時間等の詳細は、試験期日の前週までに本学ウェブサイトの「入試情報」でお知らせします。	口頭発表・口頭試問
社 会 人 特 別 入 試		
外国人留学生特別入試		

【4月期入学第Ⅰ期】

入 試 種 別	試 験 期 日	試 験 科 目
一 般 入 試	令和 8 (2026) 年 8 月 20 日 (木) 集合時間等の詳細は、試験期日の前週までに本学ウェブサイトの「入試情報」でお知らせします。	口頭発表・口頭試問
社 会 人 特 別 入 試		
外国人留学生特別入試		
推 薦 入 試		

【4月期入学第Ⅱ期】

入 試 種 別	試 験 期 日	試 験 科 目
一 般 入 試	令和 8 (2026) 年 11 月 25 日 (水) 集合時間等の詳細は、試験期日の前週までに本学ウェブサイトの「入試情報」でお知らせします。	口頭発表・口頭試問
社 会 人 特 別 入 試		
外国人留学生特別入試		
推 薦 入 試		

(2) 試験会場

福島大学（福島市金谷川 1 番地）

※ 本要項末の福島大学案内図を参照してください。試験会場等の詳細については、本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）で公表する案内で確認してください。

試験当日、天候状況や公共交通機関などの影響により試験が繰り下げ、延期等される場合は、本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）でお知らせします。

7. 障がい等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障がい等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願の1か月前までに本学入試課に申し出てください。試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

8. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等の教育・研究内容が国際的な平和および安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますのでご留意ください。

なお、詳細については、研究振興課(024-548-5248)までお問い合わせください。

9. 合格者発表

10月期入学	令和8(2026)年 8月27日(木)午前11時
4月期入学 第Ⅰ期	令和8(2026)年 8月27日(木)午前11時
4月期入学 第Ⅱ期	令和8(2026)年12月10日(木)午前11時

合格者の発表は、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に受験番号を掲載するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。

電話等による合否の問い合わせには応じません。

10. 入学手続および入学手続に係る留意事項

- (1) 合格者は、下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」に記載します。

【入学手続期間】

10月期入学	令和8(2026)年8月28日(金)～9月3日(木)午後4時必着
4月期入学 第Ⅰ期	令和8(2026)年12月11日(金)～12月18日(金)午後4時必着
4月期入学 第Ⅱ期	令和8(2026)年12月11日(金)～12月18日(金)午後4時必着

※ 指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

※ 入学手続、諸会費等を記載した「入学手続の手引き」は、10月期入学合格者および4月期入学(第Ⅱ期)合格者へは、「合格通知書」に同封します。4月期入学(第Ⅰ期)合格者へは、「合格通知書」とは別に10月上旬に送付予定です。

- (2) 入学金および授業料

入学金 282,000円 [予定]

授業料 前期分 267,900円 [予定] 後期分 267,900円 [予定]

年 額 535,800円 [予定]

(注1) 入学時および在学中に入学金・授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな入学金・授業料が適用されます。

(注2) 入学手続完了後、特別な事情により入学を辞退する場合には、事前に本学入試課まで電話で連絡し、10月期入学者は令和8(2026)年9月30日(水)午後5時まで、4月期入学者は令和9(2027)年3月31日(水)午後5時までに「入学辞退願」(任意の様式により、辞退理由(具体的に理由を付す)、入学を辞退する専攻、氏名、受験番号、願出日付を記入し、本人が署名したもの)を提出してください。ただし、入学金は返還しません。留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含みます。

11. 入学金・授業料の減免について

経済的理由により入学金、授業料の納入が困難で、かつ、最終大学・学校等における学業成績が優秀と認められる場合には、選考のうえ入学金、授業料の減免が許可される制度があります。

※ 令和7年度4月に、高等専門学校から3年次編入された学生の方で、令和9(2027)年3月に本学卒業見込みで引き続き本学大学院博士前期課程(4月期入学)に出願する方は、入学料免除となります。

入学料・授業料の免除等に関する詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」を参照してください。

問い合わせ先 福島大学学生支援課

Tel:024-548-8060

12. 注 意 事 項

- (1) 事情によっては、出願手続、試験期日等について、変更することがあります。変更があった場合は、本学ウェブサイト(「入試情報」<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)で、あらためて通知します。

- (2) 入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人福島大学個人情報保護管理規則」に基づき、下記の目的でのみ利用し、その保護に努めます。

○ 入学者選抜に関する業務(統計処理等の付随する業務を含む)に利用します。

○ 入学手続に関する業務に利用します。

○ 入学手続完了者にあつては、入学後の修学指導業務および学生支援業務、授業料徴収業務、入学者の教育方法の改善に利用します。また、入学料免除、授業料免除および各種奨学金申請(応募)者にあつては、入学試験の成績等を当該免除者または奨学金貸与者の選考判定等に利用する場合があります。

また、出願手続に関する業務を円滑に進めるため、業務の一部を外部に委託しています。委託先に対して、必要な個人情報を提供しますが、委託先との間で適切な取り扱いに関する契約の締結をはじめ、適切な監督を行います。

- (3) 入学試験に関する問い合わせ先

福島大学入試課

〒960-1296 福島市金谷川1番地 Tel:024-548-8064

13. 東日本大震災(原発事故含む)および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和8(2026)年度に行われるすべての入試において、検定料免除の特別措置を以下のとおり行います。

- (1) 対象者

出願期間終了までに、次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については、検定料を全額免除します。なお、入学志願者が被災していない場合は免除の対象になりません。

- ① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、入学志願者または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方
- ② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方
- ③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」、「計画的避難区域」、「緊急時避難準備区域」、「特定避難勧奨地点」に平成23年3月11日時点で入学志願者または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方

上記免除対象者の詳細については次の表をご確認ください。

区 分	検定料免除の可否（可は○，否は×で示しています）				
	全 壊	大規模半壊	半 壊	流 失	一部損壊
①家屋の全・半壊	○				×
②主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者				主たる家計支持者以外
	○				×
③原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域
	○				×

注：区域については、再編前の区域としています。

(2) 必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

① 検定料免除申請書（本学所定の様式）

本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」

(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>) 参照

② 次に挙げる証明書のいずれか一つの写し

上記(1)①に該当する場合、「市町村長が発行する罹災証明書」

上記(1)②に該当する場合、「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」

上記(1)③に該当する場合、「避難している（いた）ことが確認できる書類」（自己申立書でも可）

(3) 必要書類の提出方法と提出期間

出願時に書類と合わせて提出してください。

検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を支払わないでください。

※出願期間後の申請は認められませんので、ご注意ください。

※諸事情により出願時に(2)②の証明書等を提出できない場合は、事前に本学入試課までお問い合わせください。

14. 教育方法の特例措置について

本研究科のうち共生システム理工学専攻では、大学院での履修を希望する社会人の期待に応えるべく、昼夜開講制を採り、夜間の2時限（18時00分～19時30分および19時40分～21時10分）に設定された授業の履修によっても課程修了に必要な全単位（30単位）を履修できるコースもあります。この特例措置を希望する場合には、本学入試課と入学後に指導を希望する教員に、出願前に相談してください。

15. 長期履修学生制度について

職業等に従事することにより時間的制約のある学生のために、標準修業年限を超えた期間（長期履修期間）で修学を可能にする制度があります。

長期履修生として認められた場合は、認められた長期履修期間に応じて分割した額の授業料を各年度に支払うことになります（例えば、博士前期課程学生の場合、通常2年で修了となりますが、この制度を利用することで、授業料総額はそのままに3年もしくは4年間かけて学び、修了することが可能となります）。

問い合わせ先 福島大学教務課 Tel:024-548-8357

16. こども性暴力防止法の施行について

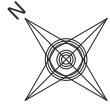
学校等における実習に参加する実習生について性犯罪前科の有無の確認が求められる場合があります。

留意点を以下の教務課ホームページに掲載しています。

https://kyoumu.adb.fukushima-u.ac.jp/pdf/index/kodomo_seibouryoku.pdf



福島大学案内図

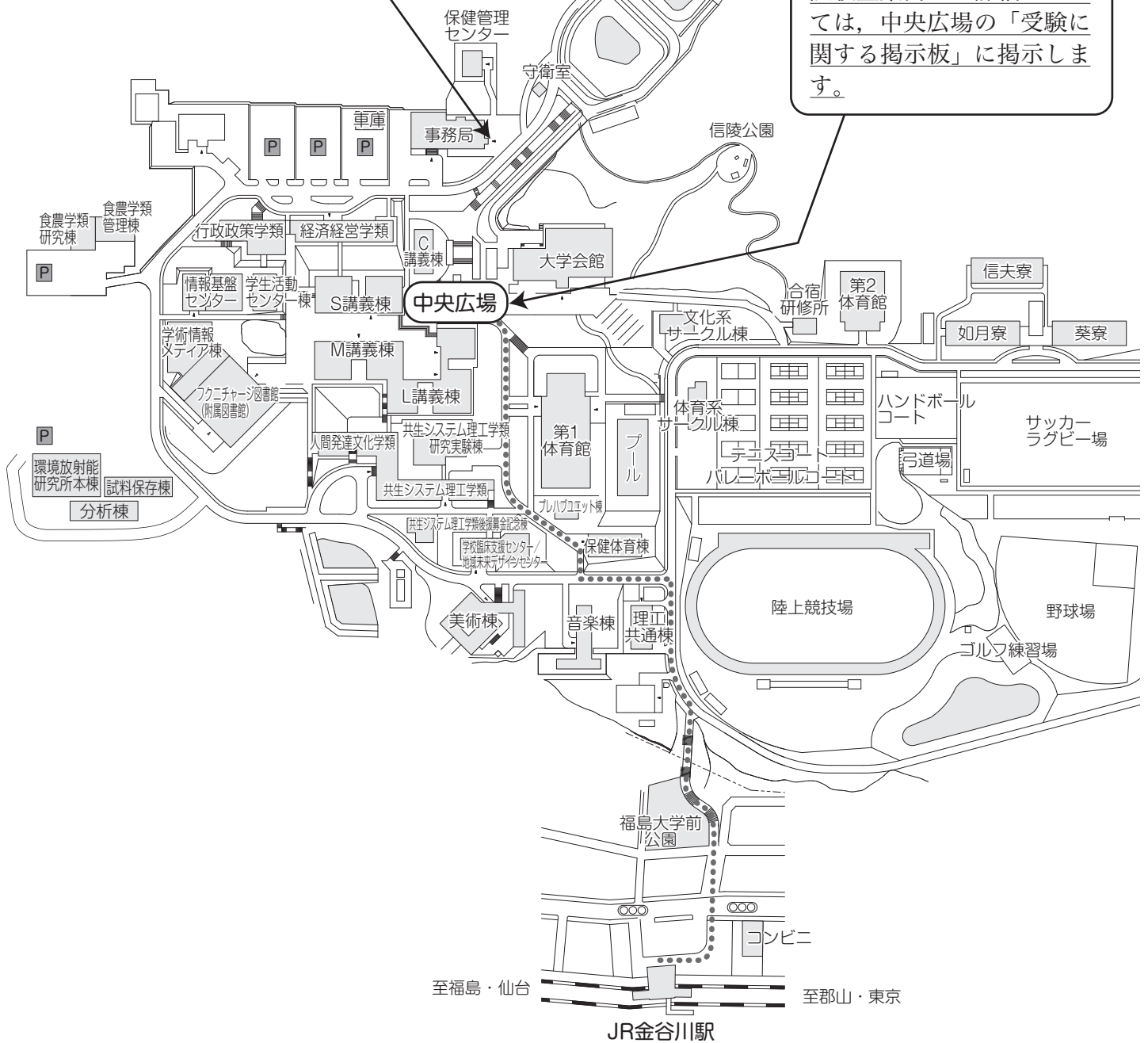


県道 至福島
福島・安達線 (旧国道4号) 至松川町

入試課 (1F)

受験に関する掲示板

試験室案内など詳細については、中央広場の「受験に関する掲示板」に掲示します。



JR東北本線金谷川駅下車
中央広場まで徒歩約10分



国立大学法人

福島大学

Fukushima University

共生システム理工学研究科共生システム理工学専攻教員一覧
（令和８年６月現在。一部変更になる場合もあります。）

【履修コース】数理・情報システムコース，物理・メカトロニクスコース，
物質・エネルギー科学コース，生命・環境コース

【取得できる学位】修士（理工学）

	担当教員	主な授業科目の名称		担当教員	主な授業科目の名称
数理・情報システムコース	石岡 賢	技術経営（MOT）特論Ⅰ・Ⅱ	物質・エネルギー科学コース	浅田 隆志	バイオマス資源工学特論Ⅰ・Ⅱ
	石川 友保	ロジスティクスシステム特論Ⅰ・Ⅱ		生田 博将	無機固体化学特論Ⅰ・Ⅱ
	内海 哲史	ネットワークシステム特論Ⅰ・Ⅱ		伊藤 博	水素エネルギー変換工学特論Ⅰ・Ⅱ
	大沼 亮	知識ソフトウェアシステム特論Ⅰ・Ⅱ		猪俣 慎二	無機化学特論Ⅰ・Ⅱ
	筧 宗徳	生産システム最適化特論Ⅰ・Ⅱ		岩村 振一郎	材料プロセス特論Ⅰ・Ⅱ
	笠井 博則	応用数学特論Ⅰ・Ⅱ		遠藤 成輝*1	水素エネルギー特論Ⅰ・Ⅱ
	ザビル サラウッディン ムハマド サリム	Internet of Things 特論Ⅰ・Ⅱ		大橋 弘範	物理化学特論Ⅰ・Ⅱ
	中川 和重	非線型解析特論Ⅰ・Ⅱ		大山 大	合成化学特論Ⅰ・Ⅱ
	中田 文憲	幾何学特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		島袋 出	環境・エネルギー材料特論Ⅰ・Ⅱ
	中村 勝一	データ工学特論Ⅰ・Ⅱ		杉森 大助	生物工学特論Ⅰ・Ⅱ
	中山 祐貴	インタラクション工学特論Ⅰ・Ⅱ		大樂 武範	生体分子化学特論Ⅰ・Ⅱ
	西嶋 大輔	環境経済システム特論Ⅰ・Ⅱ		高貝 慶隆	分析化学特論Ⅰ・Ⅱ
	長谷川 真吾	情報セキュリティ特論Ⅰ・Ⅱ		高安 徹	有機化学特論Ⅰ・Ⅱ
	樋口 良之	交通物流システム工学特論Ⅰ・Ⅱ		中村 和正	材料物性特論Ⅰ・Ⅱ
	藤本 勝成	知能情報学特論Ⅰ・Ⅱ		諸岡 哲朗	電気化学特論Ⅰ・Ⅱ
	三浦 一之	アルゴリズム特論Ⅰ・Ⅱ	生命・環境コース	兼子 伸吾	分子生態学特論Ⅰ・Ⅱ
	和田 正樹	解析学特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		川越 清樹	流域水管理特論Ⅰ・Ⅱ
物理・メカトロニクスコース	稲田 シュンコ アルバーノ	医用工学特論Ⅰ・Ⅱ		黒沢 高秀	植物多様性特論Ⅰ・Ⅱ
	織原 大*1	電力システム工学特論Ⅰ・Ⅱ		後藤 忍	環境計画特論Ⅰ・Ⅱ
	衣川 潤	ヒューマンマシンインタフェース特論Ⅰ・Ⅱ		高原 円	精神生理学特論Ⅰ・Ⅱ
	島田 邦雄	エネルギーシステム工学特論Ⅰ・Ⅱ		塘 忠顕	動物形態学特論Ⅰ・Ⅱ
	情野 瑛	ロボットシステム特論Ⅰ・Ⅱ		富樫 聡*1	地中熱利用特論Ⅰ・Ⅱ
	高橋 隆行*2	メカトロニクス特論Ⅰ・Ⅱ		長橋 良隆	地質学特論Ⅰ・Ⅱ
	田中 明	人間医工学特論Ⅰ・Ⅱ		永幡 幸司	サウンドスケープ特論Ⅰ・Ⅱ
	馬場 一晴	宇宙と素粒子の物理学特論Ⅰ・Ⅱ		難波 謙二	環境微生物学特論Ⅰ・Ⅱ
	松本 正晴	計算科学特論Ⅰ・Ⅱ		廣田 峻	植物生態学特論Ⅰ・Ⅱ
	山口 克彦	物性物理学特論Ⅰ・Ⅱ		水澤 玲子	島嶼生物学特論Ⅰ・Ⅱ
	湯口 彰重	センシングシステム特論Ⅰ・Ⅱ		横尾 善之	流域水循環特論Ⅰ・Ⅱ
				吉田 龍平	環境モデリング特論Ⅰ・Ⅱ
				渡邊 教弘*1	地熱工学特論Ⅰ・Ⅱ

・「*1」印のついた教員は，連携大学院方式で研究の指導等を行います。

・「*2」印のついた教員は，指導教員にはなれません。

・令和９年度にコース名称の変更を予定しています。本学ウェブサイト「入試情報」
(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) に情報を掲載していますので出願の際には必ずご確認ください。

共生システム理工学研究科環境放射能学専攻教員一覧
（令和８年６月現在。一部変更になる場合もあります。）

【履修コース】環境放射能学コース（生態学分野，モデリング分野，計測分野）

【取得できる学位】修士（理工学）

教員一覧および担当授業科目

分 野	担 当 教 員	授業担当科目の名称
共通	オムニバス（ヨシエンコ・和田）	放射生態学
	オムニバス（脇山・高田・グシエフ）	原子力災害学
	オムニバス（鳥居・平尾）	核種分析学
	オムニバス（全教員）	環境放射能学Ⅰ・Ⅱ
	オムニバス（全教員）	環境放射能学演習・環境放射能学特別演習
生態学分野	ヴァシル ヨシエンコ	陸域放射生態学
	兼子 伸吾 ※	分子生態学特論Ⅰ・Ⅱ
	難波 謙二 ※	環境微生物学特論Ⅰ・Ⅱ
	和田 敏裕	水圏放射生態学
	オムニバス（生態学分野）	放射能生態実習
モデリング分野	川越 清樹 ※	流域水管理特論Ⅰ・Ⅱ
	高田 兵衛	海洋放射能動態学特論
	平尾 茂一	移動現象論
	マキシム グシエフ	放射能モデリング学特論
	横尾 善之 ※	流域水循環特論Ⅰ・Ⅱ
	脇山 義史	陸域放射能動態学
	オムニバス（モデリング分野）	放射能モデリング実習
計測分野	ラハマン イスマイル	放射能等の分離技術
	高貝 慶隆 ※	分析化学特論Ⅰ・Ⅱ
	高橋 隆行 ※	メカトロニクス特論Ⅰ・Ⅱ
	鳥居 建男	放射線計測工学特論
	山口 克彦 ※	物性物理学特論Ⅰ・Ⅱ
	オムニバス（計測分野）	放射能計測実習

・「※」は共生システム理工学専攻と兼任教員

指導教員一覧

分 野	氏 名
生態学分野	ヴァシル ヨシエンコ 和田 敏裕
モデリング分野	高田 兵衛 平尾 茂一 マキシム グシエフ 脇山 義史
計測分野	ラハマン イスマイル

詳しくは、本学環境放射能研究所のウェブサイト（<https://www.ier.fukushima-u.ac.jp/>）を参照してください。

令和 8 (2026)年度10月期／令和 9 (2027)年度 4 月期

福島大学大学院共生システム理工学研究科（博士前期課程）入学試験

（一般入試，社会人特別入試，外国人留学生特別入試）

入 学 志 願 票

入学時期 (○印を付してください)		志願専攻 (○印を付してください)		入試区分 (○印を付してください)			受験番号（記入不要）	
令和 8（2026）年度 10月期	令和 9（2027）年度 4 月期	共生システム 理工学専攻	環境放射能学 専攻	一般入試	社会人 特別入試	外国人 留学生 特別入試	MR	
ふ り が な					生年月日・年齢		性別	
氏 名				年 月 日 (満 歳) ※10月期志願者は令和 8 年 9 月30日現在 ※ 4 月期志願者は令和 9 年 3 月31日現在			男 ・ 女	
	希望する指導教員名	指導教員のコース			国籍（外国人のみ）		在留資格（外国人のみ）	
第 1 希望								
第 2 希望								
出願資格	該当する 出願資格 (全員)	(○印を付してください) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11			該当する 要 件 (社会人特別入試)		(○印を付してください) A B C	
	国立・公立・私立		大学		学部		学科	
					学群		学類	
					年 月		卒業 ・ 卒業見込	
			年 月 日		学位授与 ・ 学位授与見込			
		年 月 日		個別入学資格審査認定				
現住所	住所 〒 - ☎ - - E-mail							
連絡先 (日本国内)	住所 〒 - ☎ - - 携帯電話 - - E-mail							
勤務先 (有職者)	勤務先名称 職種・役職等 () 勤務先住所 〒 - ☎ - -							

(注) 記入の際は、次頁の記入上の注意を参照してください。

学歴			
日本国籍を有しない者は「初等教育」から、それ以外の者は「高等学校」から記入してください。 なお、研究生等の履歴も記入してください。			
学 校 名	期 間		
	年	月	入学
	年	月	卒業・卒業見込
	年	月	入学
	年	月	卒業・卒業見込
	年	月	入学
	年	月	卒業・卒業見込
	年	月	入学
	年	月	卒業・卒業見込
	年	月	入学
	年	月	卒業・卒業見込
	年	月	入学
	年	月	卒業・卒業見込
	年	月	入学
	年	月	卒業・卒業見込
職歴			
勤 務 先 名 称	職 種	勤 務 期 間	
		年	月 から
		年	月 まで
		年	月 から
		年	月 まで
		年	月 から
		年	月 まで
		年	月 から
		年	月 まで
		年	月 から
		年	月 まで
上記のとおり相違ありません。			
年 月 日			
入学志願者氏名（自署）			

(注) 虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。

【入学志願票記入上の注意】

- ① 「希望する指導教員名」「指導教員のコース」は、「共生システム理工学専攻教員一覧」「環境放射能学専攻教員一覧」を参照し記入してください。**出願に当たっては、出願前に志望コース・分野の希望指導教員と連絡を取り、研究分野の適合性について必ず相談してください。**
「指導教員のコース」については、以下のうち、該当するものを記入してください。
共生システム理工学専攻：数理・情報システム、物理・メカトロニクス、
物質・エネルギー科学、生命・環境
環境放射能学専攻：環境放射能学
- ② 「該当する出願資格」（全員）は学生募集要項 P.4～、「該当する要件」（社会人特別入試）は、学生募集要項 P.5を参照し○印を付してください。
- ③ 「連絡先」は、出願書類に関する照会等に利用しますので、連絡が確実なところを記入してください。

令和 9 (2027)年度4月期 福島大学大学院共生システム理工学研究科（博士前期課程）入学試験
（推薦入試（高等専門学校専攻科生対象））

入 学 志 願 票

志願専攻 (○印を付してください)		入試区分	受験番号（記入不要）
共生システム理工学専攻 環境放射能学専攻		推薦入試 (高等専門学校専攻科生対象)	MR
ふりがな	生年月日・年齢		性別
氏 名	年 月 日 (満 歳) ※令和 9 年 3 月 31 日現在		男 ・ 女
	希望する指導教員名	指導教員のコース	国籍 (外国人のみ)
第 1 希望			在留資格 (外国人のみ)
第 2 希望			
出願資格	国立・公立・私立 高等専門学校 専攻 年 月 修了見込		
現住所	住所 〒 - ☎ - - E-mail		
連絡先	住所 〒 - ☎ - - 携帯電話 - - E-mail		

(注) ① 「希望する指導教員名」「指導教員のコース」は、「共生システム理工学専攻教員一覧」「環境放射能学専攻教員一覧」を参照し記入してください。出願に当たっては、出願前に志望コース・分野の希望指導教員と連絡を取り、研究分野の適合性について必ず相談してください。
「指導教員のコース」については、以下のうち、該当するものを記入してください。
共生システム理工学専攻：数理・情報システム、物理・メカトロニクス、
物質・エネルギー科学、生命・環境
環境放射能学専攻：環境放射能学
②「連絡先」は、出願書類に関する照会等に利用しますので、連絡が確実なところを記入してください。

学 歴	
学 校 名	期 間
	年 月 入学
	年 月 卒業・卒業見込
	年 月 入学
	年 月 卒業・卒業見込
	年 月 入学
	年 月 卒業・卒業見込
	年 月 入学
	年 月 卒業・卒業見込
	年 月 入学
	年 月 卒業・卒業見込
	年 月 入学
	年 月 卒業・卒業見込
	年 月 入学
	年 月 卒業・卒業見込
上記のとおり相違ありません。	
年 月 日	
入学志願者氏名（自署）	

（注）虚偽の記載があった場合は，入学を取り消すことがあります。

【研究計画書は全員記入し提出してください】

研究計画書

入試種別	推薦入試 高等専門学校 専攻科生対象	一般入試	社会人特別 入 試	外国人留学生 特 別 入 試	受験番号 (記入不要)	MR
ふりがな				生年月日		性別
氏 名				年 月 日 (満 歳) ※10月期志願者は令和8年9月30日現在 ※4月期志願者は令和9年3月31日現在		男・女
	希望する指導教員名			指導教員のコース		
第1希望						
第2希望						

研究計画の概要を記入してください

(注) 「希望する指導教員名」「指導教員のコース」は、「共生システム理工学専攻教員一覧」「環境放射能学専攻教員一覧」を参照し記入してください。

「指導教員のコース」については、以下のうち、該当するものを記入してください。

- ・共生システム理工学専攻：数理・情報システム，物理・メカトロニクス，物質・エネルギー科学，生命・環境
- ・環境放射能学専攻：環境放射能学

【社会人特別入試出願者は全員記入し提出してください】

研究業績報告書

	受験番号 (記入不要)	MR
ふりがな	生年月日	性別
氏名	年 月 日 (満 歳) ※10月期志願者は令和8年9月30日現在 ※4月期志願者は令和9年3月31日現在	男 ・ 女
研究業績等		
[論文，報告書などの出版物があれば，その題名，発表年月，雑誌名・著者全員の氏名，ページ数など，学会や研究集会発表があれば，その題名，発表年月日，学会・研究集会名・発表者全員の氏名などを記入してください。]		
(研究計画に関連した職歴があれば，計画との関連や職務内容などを記入してください。)		

受験番号（記入不要）

MR

推 薦 書

福島大学大学院共生システム理工学研究科長 様

（ふりがな）

学生氏名

年 月 日 生 男 ・ 女

上記の者を，下記のとおり，貴研究科推薦入試（高等専門学校専攻科生対象）の出願資格要件に該当する者と認め，責任を持って推薦いたします。

年 月 日

所在地

立

高等専門学校

学 校 長 名

公印

記載責任者名
（指導教員）

受験番号（記入不要）

MR

記

推薦理由

学校名

高等専門学校

氏名

特記事項

記入上の注意：記載者は指導教員とします。

【検定料免除申請者のみ提出】 ※検定料は支払わないでください。

受験番号（記入不要）

MR

検 定 料 免 除 申 請 書

令和 年 月 日

福 島 大 学 長 殿

入学志願者氏名 _____

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災，東京電力福島第一原子力発電所事故，平成 23 年度以降に発生した豪雨災害等の激甚災害において，下記のとおり被災しましたので，必要書類を添付のうえ，検定料の免除を申請します。

記

1. 被災した原因（該当箇所にチェックをしてください。）

- ☐ 東日本大震災
☐ 東京電力福島第一原子力発電所事故
☐ 平成 23 年度以降に発生した豪雨災害等の激甚災害

2. 被災状況（該当箇所にチェックをしてください。）

- ①家屋の損壊 ☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 流失
②☐ 主たる家計支持者が死亡または行方不明
③東京電力福島第一原子力発電所事故による避難区域（区域は再編前の区域による）
☐ 警戒区域 ☐ 計画的避難区域 ☐ 緊急時避難準備区域 ☐ 特定避難勧奨地点

入学志願者氏名	
志願研究科	共生システム理工学研究科
連 絡 先	〒 ☎ ()

入学後の学資 負担者氏名	Ⓜ (続柄)
連 絡 先	〒 ☎ ()